

## 【重要文化財新指定物件】

- 重要文化財 おおいたけん めんがひら こふん しゅつどひん  
**大分県免ヶ平古墳出土品**
- (時代) 古墳時代  
(所在地) 宇佐市大字高森字京塚1 (大分県立歴史博物館)  
(指定理由)

宇佐市の国指定史跡川部・高森古墳群にある全長50メートルの前方後円墳の後円部に築かれた、たてあなしきせきしつ 竪穴式石室と はこしきせつかん 箱式石棺から出土した古墳時代前期の副葬品の一括。しやえんしんじゆうきよう 竪穴式石室からは、ぼうせいさんかくぶちしんじゆうきよう 仿製三角縁神獸鏡各1面、豊富な玉類や、大刀・劍・槍・農耕具などの鉄製品が多数出土しており、また、箱式石棺からは斜縁神獸鏡1面と、玉類・刀子が出土している。

九州の瀬戸内海沿岸地域における古墳時代前期の副葬品一括として、学術的価値が高い資料である。



## 【重要文化財新指定物件】

重要文化財 **羅漢寺石仏**

(時代) 南北朝時代

(指定理由) 中津市耶馬溪の羅漢寺にある、無漏窟と呼ばれる洞窟内およびその周辺に安置された、耶馬溪の五百羅漢として有名な石仏群である。釈迦三尊像を中心に十大弟子、五百羅漢等により構成されており、供養具にいたるまで石材で製作されている。

僧の円龕昭覚・逆流建順により延文5年（1360）頃に製作され、中世における石仏の作例の一つとして、また九州石造文化の中で生み出されたものとしても注目すべきものであると同時に、当時における中国文化の受容の顕著なありようを示す点でも貴重である。

